



改修工事に伴う第 I 期個人長期貸出について

改修工事に伴う、6/1 の新館閉鎖に先立ち、第 I 期個人長期貸出を実施します。新館閉鎖後は、一部図書を除き、利用できなくなりますので、必要な図書は貸出を受けておいてください。なお、8 月の休館閉鎖時には第 II 期個人長期貸出を実施します。詳細は館内掲示や HP の「本館工事関連情報」をご確認ください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 貸出手続き期間
5/21(月) ~ 5/31(木) ■ 対象・貸出冊数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員、名誉教授、大学院生、卒業年次生：20 冊 ・ 学部学生、教員以外の研究者、職員：10 冊 ・ 学外者：不可(通常通りの貸出のみ) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 貸出対象資料
旧館の開架図書を除く、貸出可能図書のうち、ピンク色のシールのないもの。書庫内資料も含む。 ■ 返却期限
平成 24 年 7 月 10 日(火) |
|---|---|

CONTENTS

- 第一期個人長期貸出について
- リテラシー講習会のお知らせ
- リユース市開催予告
- お薦め図書
 - 小柴昌俊 『物理屋になりたかったんだよ』
 - つばやきライム
 - 第 26 回 / カウンターからのつばやき 2
- ライムのぼんやりトーク

学術情報リテラシー講習会のお知らせ

○ 図書館ツアー

館内を一巡りしながら、大学図書館の基本機能を紹介します。
 日時：5/8(火)、10(木)、11(金) 各日 14:30 ~ 15:00

○ OPAC 講習会

大学図書館で初めて使うデータベースとして、島大 OPAC を扱います。島大 OPAC では、島根大学にどんな資料があるかを調べることが出来ます。
 日時：5/17(木)、18(金)、22(火)、24(木)、25(金)、28(月)、29(火)、30(水)、31(木)
 各日 14:30 ~ 15:00

○ 講習会「レポート作成法」

大学生が避けては通れないのがレポート。レポートって何? どういう手順で作成すれば? 等の疑問にお答えします。
 日時：6/20(水) 14:30 ~ 16:00

附属図書館本館 改修工事スケジュール

5 月末には新館が閉鎖されます。閉鎖後、新館と書庫にある資料は利用できなくなります。これに先立ち、5/21(月) ~ 5/31(木)の間、個人長期貸出を実施します。詳細は館内掲示や HP の「本館工事関連情報」をチェック!

施設	新館	旧館	5月	6月	7月	8月	9月
仮設図書館	開館(5/31)	開館					
準備中	閉館	閉館					
開館							

注/工事や作業状況により予定がずれることがあります。



開催
予告

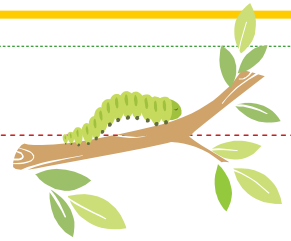
第 8 回図書館蔵書リユース市

図書館の蔵書のうちで重版や改版により、廃棄される予定となっている古い学術書や研究書を、再利用のために安価で販売する企画です。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 日時 <ul style="list-style-type: none"> 5/30(水) 13:00 ~ 17:00 5/31(木) 10:00 ~ 17:00 6/1(金) 10:00 ~ 13:00 ■ 場所
島根大学 大学会館 3F 大集会室 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 内容
各分野の学術図書 約 8000 冊
1 冊 100 円、200 円、500 円を予定しています(税込)。但し 100 円のものが多いです。 |
|--|--|

お薦め図書

このコーナーは毎回様々な人が選んだお薦めの本を紹介するコーナーです。今回は附属図書館本館の職員からの推薦図書です。



物理屋になりたかったんだよ：ノーベル物理学賞への軌跡

小柴昌俊著 【NDC:440.12/Ko84 本館 2F 閲覧室】

来たる5月21日(月)の朝。日本で金環日食が起こります。日食というと、宇宙飛行士の毛利衛氏は少年時代に見た皆既日食に大きな影響を受けたそうだという話を思い出します。

さて、本書の主人公は何に影響を受けて“物理屋”になることになったのでしょうか。ノーベル物理学賞受賞者、小柴昌俊。カミオカンデやニュートリノといったキーワードでピンとくる方も多いかもしれません。私などはピンと来たところで、どういふことをした人なのかいまいちピンときませんが、本書を読んで理解を深めることが出来ました。岐阜県の神岡というところにカミオカンデがつくられたこと、その中は水で満たされていたこと、本来の目的は別にあったこと等、知らなかったのは私だけでしょうか。

それよりも興味深いのは小柴氏自身についての記述です。多くの人に導かれ、かつ導きながら、パワフルに活動してこられた半生を垣間見ることが出来ます。少年時代、入院時に

担任の先生からもらったアインシュタイン等著『物理学はいかに創られたか』。この本との出会いをきっかけに物理学を志すことになった……となれば図書館的に良いエピソードなのですが、そうではないらしいです(残念)。小柴氏が“物理屋”になるきっかけは、意外や意外、お風呂の湯気の向こうにあったとのこと。そんなことで!?と思ってしまうかもしれないこのきっかけについては、本書で確認してください。

ちなみに本書は小柴氏の自著のように見えますが、実際は編集者がインタビューからおこしたものです。そのためか話があちこちに飛んで理解しづらいところがあるので、巻末の解説から読み始めることを勧めます。冒頭の日食ですが、残念ながら島根では部分日食しか見られません。しかしながきっかけになるかわかりませんから、この貴重な天体ショーを楽しみに待ちうけようではありませんか。

(kori)

つぶやきライム

～図書館職員のメッセージリレー～

第26回 カウンターからのつぶやき 2

ここは大学図書館の入り口付近。突如鳴り響くブザー、無情にもゲートに阻まれ、周囲の冷たい視線と開かない扉の前で焦り、立ちすくむ来館者。そのうちに後ろには列が出来始め、どこからともなく近寄る職員の気配・・・まだ不慣れな新入生なら恐怖すら覚える状況ですね、胸が詰まります。

しかし、これは図書館ではごく日常の風景。カウンターに座っていると1時間に4～5回は鳴るでしょうか？よく「今日は運が悪かった～」とこぼす方もおられますが、もちろん運の善し悪しで鳴らしてはいません。ゲートでアラームが鳴るにはそれ相応の訳があり、同時に二人が通る、一定時間ゲート内に留まる、無断で本を持ち出す等々、さまざまな時に鳴るシステムなのです。(申し訳ありません。まれにシステムの誤作動で鳴ってしまうことがありますので運が悪いわけではないとは言い切れませんね)

そんな図書館も春が終わると耐震改修工事に入り、8月には完全に閉館します。大学会館2階に仮設図書館を設置しますが、新しい図書館のオープンは来春の予定です。

だからというわけではありませんが、今のうちにぜひ図書館に来て下さい。ブウ～ッとアラームを鳴らしてでも利用する価値のある膨大な図書と個性あふれる職員が皆さんを心よりお待ちしております。

(0)



ライムのぼんやりトーク



けんさくくん
風がさわやかな季節になったね。メインストリートの緑もきれいで気持ちいいよ。



ライム博士
新緑や風薫るといえば、5月の季語だね。



みいなちゃん
ねえねえ、日食の観察の仕方を調べに図書館に行かない？



けんさくくん
いいね。だけど、図書館にいい本があるかなあ。



ライム博士
そうだね、観察の仕方は新しい決まりが出来ているようだし、図書よりも雑誌の方が、情報が新しくて正確かもしれないね。



けんさくくん
Web 検索もいいかも！



ライム博士
確かに。この場合は確かな情報源を見極めよう。今回の日食については国立天文台のHP等が役に立ちそうだよ。